



決算上資産評価ノ標準ヲ論ズ

鹿野, 清次郎

(Citation)

経済學商業學國民經濟雜誌, 18(4):583-594

(Issue Date)

1915-04

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052352>



決算上資産評價ノ標準ヲ論ズ

東京高等商業學校教授

鹿野清次郎

凡ソ事業ヲ經營シ財務ヲ處理スルニ其營業取引ノ歴史ヲ記錄シ以テ其計算ヲ爲スニ複式簿記ニ據ルトキハ其事業ニ對シテ眞實ナル資産負債損失利益ヲ計算シ得ルモノト信ズルモノ世ニ少シトセズ複式簿記ハ事業經營上ニ於ケル記錄計算ニ對シテ事實ノ正確ヲ示スモノナリト雖モ必ズシモ其資産負債損失利益ノ眞實ノ狀態ヲ描寫セルモノニアラズ何トナレバ其記錄計算ニシテ眞實ナラザルトキハ其結果タル資産負債損失利益ノ計算モ亦眞實ナラザルハ明カナリト云ハザルベカラズ是ヲ以テ資産負債損失利益ニ關スル事項ヲ帳簿ニ記錄スル以前ニ於テ其記錄計算スベキ事項ハ果シテ能ク正當ナルヤ否ヤニ就テ充分ニ吟味ヲ遂ゲザルベカラズ從テ各營業期間毎ニ決算ノ際ニ於ケル資産評價ノ正否ノ如キハ直ニ其損失利益ノ計算ニ正否ヲ及ボスモノニシテ複式簿記ニ據レル記錄ハ其損失

利益ノ正否ニ關係セズシテ其正タルト否タルトノ事實其儘ヲ示スニ過ギザルナリ抑モ事業ヲ經營スルニ其經營ノ任ニ當ルトコロノ營業方ハ事業所有主ニ對スル計算ト第三者ニ對スル計算トアリ事業所有主ニ對スル計算ハ内部ノ計算ニシテ第三者ニ對スル計算ハ外部ニ對スル計算ナリ之ヲ帳簿ニ記錄スルニ當リ外部ニ對スル計算ハ事業所有主以外ナル他人ニ對スル權利義務ノ計算ニシテ其關係極メテ明白ナレバ之ヲ等閑ニ附スルガ如キコトアラバ直接ニ營業取引ノ上ヘ影響ヲ來シ怠慢ニ流ル、ヲ許サルナリ例ヘバ商品ヲ掛ニテ買入レタリトセンカ其相手方タル權利者ハ空シク其義務ヲ怠ラシムルモノアラシヤ又商品ヲ掛ニテ賣渡シタリトセンカ誰カ其金額ヲ曖昧ニ附シ其權利ヲ相手方ニ對シテ主張スルコトヲ忘ル、モノアラシヤ故ニ債權債務ニ關スル計算ハ之ヲ帳簿ニ記錄スルニ當リ眞實ニ記錄スルコトヲ忘ラント欲スルモ之ヲ怠ルコト能ハザルナリ之ニ反シテ内部ノ計算ニ屬スルモノハ營業方ト事業所有主トノ間ニ於ケル計算ナルヲ以テ其觀念外部ニ對スルガ如ク切實ナラズシテ之ヲ等閑ニ附シ或ハ過去ノ財産ノ狀態ヲ現在ニ於ケル財産ノ狀態ト混同シ或ハ將來ニ豫想セル財産ノ狀態ト現

在ニ於ケル財産ノ狀態トヲ混同スルモ其財産ノ増減異動ニ對シテ外部ヨリ之ヲ窺ヒ知ルコトノ困難ナルモノアリ而シテ過去現在未來ニ於ケル財産ノ狀態ハ如何ニシテ混同セラル、ヤト云ハ各營業期間ニ於ケル資産評價ノ如何ニ依リテ混同セラル、モノ多シ故ニ資産評價ニシテ其當ヲ得ザルガ如キコトアルトキハ或ハ實際ニ存在セザル利益モ利益ノ假面ヲ被リテ之ヲ示スコトヲ得ベク或ハ實際ニ存在セル利益モ之ヲ隱蔽スルコトヲ得ルモノナリ夫レ此ノ如ク資産評價ノ正當ナルト否トハ事業經營ニ對スル損失利益ノ計算ニ關係スルコト頗ル重大ナルモノアルナリ從テ各營業期末決算ノ際ニ資産ヲ正當ニ評價スルコトナクンバ其事業ニ對シテ或營業期間ニ於ケル眞實ナル損失利益ノ多少ヲ確メ以テ其事業ノ盛衰ヲトシ經營ノ方針ヲ定ムルコト能ハザルノミナラズ其事業經營ノ任ニ當ル營業方ノ能不能ヲ判別スルコト能ハザルベキナリ。

決算ノ際ニ於ケル資産評價ノ標準ハ一般ニ通ズル方法トシテ第一ハ時價ニ據ルコト第二ハ元價ニ據ルコト第三ハ時價元價何レガ其一方低キニ據ルコトノ三種ノ方法ハ實際ニ行ハレ居ルモノ、如シ聊カ左ニ其利害得失ニ付論述ヲ試ミン。

決算ノ際ニ於テ時價ヲ以テ資産ヲ評價スルコトハ各營業期末決算ニ於ケル財産ノ眞實ノ狀態ヲ確ムルニ一見甚ダ美ニシテ間然スルコトナキガ如シト雖モ是レ皮相ノ觀察ニシテ少シク計理ノ如何ヲ辯ジ實際ノ事情ニ通ズル人ヨリ見ルトキハ百弊アリテ一利ナキコトハ容易ニ首肯スルコトヲ得ベシ蓋シ資産ヲ時價ニ據リテ評價スルトキハ其時價ノ標準ヲ得ルコト困難ナル場合多キガ故ニ當事者ハ奇貨置クベシトナシ以テ當事者自己ノ利益ノ爲ニ評價ヲ爲スモ斯ル内部ノ計算ハ容易ニ外部ヨリ其正否ヲ窺ヒ知ルコトノ便宜ヲ缺クガ故ナリ例ヘバーノ工業會社アリ其決算ニ當リ眞實ノ財産ノ狀態ハ其所有ニ屬スル土地拾萬圓建物機械等參拾九萬圓現金壹萬圓ニシテ資本金五拾萬圓ナルトキハ壹錢壹厘ノ利益モ見出スコト能ハザルベキナリ然ルニ其資産ノ内土地ハ時價ニ見積ルトキハ貳拾萬圓ニ見積ルコトヲ得ベシトシテ貳拾萬圓ニ評價スルトキハ其壹錢壹厘ノ利益ナキモノハ一筆ノ勞忽チ變ジテ數字ノ上ニ拾萬圓ノ利益ヲ計算シ得ベキナリサレバ此拾萬圓ヲ利益トシテ配當スルトキハ二割ノ配當ヲ爲スコトヲ得ヘキナリ而シテ實際ニ配當スルトキハ其配當後ニ於テ其會社ハ事業經營上困難ニ陷ラザ

ルヲ得ザルヤ明ナリト云フベシ工業會社ノ有スル土地建物機械等ノ如キ固定資產ハ事業ヲ經營進行スル上ニ於テ之ヲ現金ニ轉換スルガ如キコトハ特種ノ場合ヲ除クノ外ハ之ヲ望ムベカラズ從テ土地ハ之ヲ配當スルコト能ハズシテ其配當シ得ベキハ現金ノミナルニ現金ハ僅ニ壹萬圓ニ過ギザルガ故ニ他ノ九萬圓ハ之ヲ借入レザルベカラズ而シテ其配當後ハ運轉資本即チ流動資産ノ缺乏ヲ來スノミナラズ借入金ニ對シテハ利息ヲ支拂ハザルベカラザルニ至ルベシ其害アリテ利ナキノ明瞭ナルコトハ何人モ了解スルコトヲ得ベキナリ以上ハ極端ナル一例ヲ述ベタルニ過ギザルモ此ノ如キ類似ノ計算ヲ年々重ヌルトキハ年々借金ニ借金ヲ重ヌルノ謂ニシテ其非ナルコト識者ヲ俟タズシテ知ルベキナリ此ノ如キ計算ヲ爲ストキハ其事業經營上ニ得タル利益ヲ配當スルニアラズシテ單ニ數字ノ膨脹ニ依リテ得タル利益ノ假面ヲ被レルモノニシテ世ノ所謂資本ノ一部分ヲ配當スルモノニシテ資本ノ一部分ヲ配當スルトキハ其事業經營上ニ於テ利益ノアルト否トニ拘ラズ配當ヲ爲スコトヲ得ルモ其害タルヤ云ハズシテ明ナルノミナラズ其事業經營ノ任ニ當レル當事者ノ材能ノ良否如何ノ如キハ之ヲ判別スルニ

由ナキナリ然レバ其器ニアラザル當事者モ或期間中ハ其職ニ安ンジテ居ルコトヲ得ベシ此ノ如ク我國ニ於テ資産ノ評價ニ依リテ事業計算ノ損益ヲ左右シ得ル所以ハ畢竟ズルニ我國ノ商法第二十六條第二項ニ財産目錄ニハ動産不動産債權其他ノ財産ニ價額ヲ附シテ之ヲ記載スルコトヲ要ス其價額ハ財産目錄調製ノ時ニ於ケル價額ニ超ユルコトヲ得ズト規定アルニ原因セルモノ、如シ即チ此規定ニ據ルトキハ時價以下ナレバ其範圍内ニ於テ資産ヲ評價シ以テ決算ヲ爲スコトヲ得ベキナリ以上ハ單ニ道理ヲ述ベシニ過キザルモ實際我國ニ於テ數字ノ膨脹ニ依リテ其存在セザル利益ヲ計算シ之ヲ利益トシテ配當スルノ株式會社其實例ニ乏シカラザルモノ、如シ之ヲ各營業期末ニ於テ各株式會社ノ公示セル貸借對照表及ビ損益計算ニ於ケル數字ヲ分解シ以テ其真相ヲ研究スルトキハ其事實ニ驚カザルヲ得ザルモノ少カラシ今其一例トモ爲スベキモノヲ述ベンニ昨年某會社ノ公示セル貸借對照表ヲ見ルニ銀行預金六拾餘萬圓現金九萬圓餘ニシテ直ニ配當シ得ベキ金額ハ七拾餘萬圓其他營業上ノ貸付七拾餘萬圓ナリ故ニ此營業上ノ貸付全部ヲ回收シ得ルトスルモ合計百五拾餘萬圓ナリ而シテ其他ノ勘定科目

ハ固定資産ニシテ現金ニ轉換スルコトノ能ハザルモノ、ミナルニ當期ノ純益金百八拾餘萬圓前期繰越利益金參拾餘萬圓合計純益金貳百貳拾餘萬圓ト計算シ準備金九萬餘圓及ビ後期繰越トシテ拾餘萬圓ヲ除キ殘額百九拾餘萬圓ヲ配當セルモノアリ此ノ如キ會社ハ前述ニ於ケルガ如キ類似ノ計算ヲ爲セシモノニアラザルベキカ從テ此會社ノ負債ノ部ヲ見ルニ借入金七百餘萬圓ノ巨額ニ達スルモノアルヲ見ル亦自然ノ數ナリト云フ事ヲ得ンカ其公示セル貸借對照表及ビ損益計算ニシテ既ニ此ノ如ク然リ況ンヤ實地ニ就テ其帳簿ヲ點檢スルナラバ更ニ驚クベキモノアラン以上ハ數字ノ膨脹ニ依リテ實際ニ存在セザル利益ヲ利益トシテ計算セル點ニ就テ述べタルニ過ギザルモ建物機械等ノ如キ資産價格ノ減却ニ對シテ適當ナル準備ノ計算ヲ怠リ其等ノ資産價格ノ減却ヲ計算スルコトナク其等ノ資産ニ對シ依然タル帳簿價格ヲ以テ決算シ以テ配當スルガ如キモ資産價格ニ對スル數字ノ膨脹ト其結果ニ於テ何等異ナルコトナク資本配當トナルナク現今我國ノ工業會社ニシテ建物器械等ノ固定資産ノ價格減却ニ對スル適當ナル準備ヲ怠リ以テ配當ニ充ツルガ如キハ其實例ニ乏シカラザルハ少シク實際ノ事情ニ

通ズル人ハ熟知スルトコロナラン此ノ如ク資産價格ノ減却ニ對スル計算ヲ忽ニスルコトヲ得ルモ亦實ニ商法第二十六條第二項ニ起因スルモノト云フコトヲ得ベシ尙流動資産モ決算期ニ於テ時價ニ據ルトキハ豫想ノ利益ヲ配當スルコト、ナリテ事業ノ安固ハ期スベカラズ從テ流動資産ヲ時價ニ依リテ評價シ以テ決算スルトキハ商工業者ノ如キハ其商品又ハ製造品ノ如キハ販賣シテ利益ヲ得ベキハ自然ノ數ナルニ仕入ニ依リテ利益ヲ計算シ得ルガ如キ場合アルノ不合理ヲ見ルコトヲ得ベキナリ之ヲ要スルニ時價ニ據ルト稱シテ資産價格ノ數字ヲ膨脹シ以テ決算ヲ行ヒ資本ノ配當ヲ爲シテ往苒歲月ヲ經過スルトコロノ株式會社ノ株主ノ如キハ取締役監査役等ニ誤ラレ不測ノ不幸ニ陷ルノ期ナシト云フベカラザルノミナラズ從テ資本配當ヲ繼續スルトコロノ其株式會社自身ニ於テモ早晚或ハ増資シテ一時ヲ糊塗スルカ或ハ減資シテ其悲境ヲ脱スルカ或ハ其事業ノ衰替ヲ來スカ蓋シ其一ニ到著セザラント欲スルモ得ベカラザルモノ、如シ以上述べルトコロニ依リテ時價ニ據リテ資産ヲ評價シ以テ決算スルガ如キハ一般ニ頗ル危險ナル計算法ト云ハザルベカラズ。

事業ノ種類及ビ資産ノ性質ニ據リテハ決算ノ際ニ專ラ元價ニ據リテ資産ノ評價ヲ爲スコト可トスルモノアルガ如シ即チ其資産ノ價格ハ取引所又ハ市場價格ヲ見出スコト能ハザルモノ、如キハ元價ヲ以テ評價ヲ爲スコトハ時價ニ據ルモノニ比シテ可ナルモノ、如シ何トナレバ專ラ元價ニ據リテ計算スルトキハ時價ニ據ルモノ、如ク資産價格ノ數字ヲ膨脹シア存在セザル利益ヲ計算シ以テ配當スルガ如キ弊害ヲ避クルコトヲ得ベケレバナリ然レドモ元價ニ據リテ資産ヲ評價スルトキハ其資産價格減却ノ計ヲ忽ニスルノ弊ニ陷ルコトナキニアラズサレバ其資産價格ハ増加スルモ減却スルコトナク而シテ其資産價格ノ減却ハ容易ニ修繕費ヲ以テ補充シ得ルガ如キ事業ハ元價ヲ以テ決算ヲ行フコトハ實際ニ行ハレ居ルモノ少カラザルガ如シ從テ鐵道水道瓦斯連河等ノ如キ資本金ノ大部分ヲ固定資産ニ投ゼザルベカラザル事業ニアリテハ元價ニ據リテ決算ヲ行フトキハ資本配當ノ弊ニ陷ルコトヲ防グコトヲ得ベキナリ故ニ元價ニ據リテ決算ノ際ニ資産ヲ評價スルトキニハ其資産價格ノ減却ニ對スル計算ヲ忽諸ニ附スベカラザルハ勿論ナリト云ハザルベカラズ。

時價元價何レカ一方低キニ據リテ決算上資産ヲ評價スルトキハ一見シテ財産ノ眞狀ヲ確ムル點ニ於テ皮相ノ觀察ヲ爲ストキハ其理ノ當ヲ得ザルモノアルガ如シト雖モ少シク計理ノ如何ニ通ジ實際ノ事情ヲ知ルモノハ財産ノ安固ヲ保ツ上ニ於テ極メテ肝要ナルコトハ能ク知ルトコロナリ何トナレバ時價元價何レカ其一方低キニ據ルトキハ現今我國ニ行ハル、如キ不當ナル計算ヲ爲シ以テ資本ヲ配當シ株式會社ニ於ケル取締役等ノ如キ事業經營ノ任ニ當ルモノハ私曲ヲ營ミ以テ已ヲ利スルコトヲ得ズシテ其株式ヲ所有スルモノ、財産ハ安全ナルベキナリサレバ既ニ述ベタルガ如ク土地拾萬圓建物機械等參拾九萬圓現金壹萬圓資本金五拾萬圓ノ工業會社アリテ其所有セル土地ハ騰貴スルコトアルモ之ガ數字ヲ膨脹スルガ如キコト爲ス能ハザルノミナラズ建物機械等ニ對スル價格減却ノ計算ハ一定ノ率ヲ以テ計算ヲ爲スコトハ怠ルコトヲ得ズ尙商品及ビ製品ノ賣買ニ就テモ仕人ニ依リテ利益ヲ見出スガ如キ不都合ヲ爲スコト能ハザルベキナリ從テ如何ニ狡猾ナル取締役ノ如キ當事者ト雖モ之ガ私曲ヲ營ムベキ餘地ハ存セザルベシ是ヲ以テ時價元價何レカ一方其低キニ據リテ資産ヲ評價スルコトハ英

米ノ如キ計理ニ關スル事業大ニ發達シタル國ニアリテハ常ニ實行スルトコロナ
リ加之獨逸ノ如キハ商法第二百六十一條ニ規定シテ取引所又ハ市場價格ヲ有ス
ル有價證券及ビ貨物ハ貸借對照表調製ノ時ニ於ケル取引所又ハ市場價格ヲ超ヘ
ルコトヲ得ズ但シ此相場ハ買入價格又ハ製造價格ヲ超過セルトキニハ其價格ヲ
超過スルコトヲ得ズ又右ノ外ノ財産ハ買入價格又ハ製造價格以內ニ定ムルコト
ヲ要ストセリ而シテ尙會社營業ノ爲ニ定メタル建物其他ノ等シキ物件ノ如キ價
格ノ減却ニ拘ラズ買入價格又ハ製造價格ヲ以テ確定スルコトヲ得ルモ其價格ノ
減却ニ對シテハ其減却ト同様ナル金額ヲ引去ルカ又ハ之ニ相當スル改新準備金
ヲ計算シタルトキニ限ルモノトセリ此ノ如ク獨逸ニアリテハ元價以上ニ評價シ
テ決算スルコトヲ許サルナリ是ヲ以テ時價元價何レカ其一方低キニ據リテ資
産ヲ評價シ以テ決算ヲ行フコトハ財産ノ安固ヲ保ツ上ニ於テ缺クベカラザルモ
ノト云フベキナリ。

以上述ブルトコロニ依リテ現今我國ニ於ケル株式會社ノ如ク決算ヲ爲スニ當
リ時價ニ據リテ資産ノ評價ヲ爲スガ如キハ其經營事業ノ基礎頗ル危險ニシテ其

當ヲ得ザルハ明ニシテ經營事業ノ安固ヲ期セント欲セバ一般ニ通ズル方法トシテ時價元價何レカ一方其低キニ據ラザルベカラザルコトヲ了解シ得ベキナリ從テ彼計算ノ確實ト安全ニ對シテ用意ノ深キ英國ニ於テ完全ナル計理ノ格言トシテ一般ニ行ハル、モノヲ述ベンニ曰ク「豫想シ得ルトコロノ總テノ損失ハ之ヲ計算セザルベカラズ然レドモ未ダ現金ニ轉換セザル利益ハ之ヲ計算スベカラズ」ト此格言ノ如キハ決算ノ際ニ資産評價ノ任ニ當ルトコロノ當事者ハ能ク服膺シテ忘ルベカラザルモノト云フベキナリ。